

日本のファン待望の“ヴァイオリンで語るヴィルトゥオーゾ”再・再来日

# アドリアン・ユストウス ヴァイオリン リサイタル

ADRIAN JUSTUS ヴァイオリン  
Violin Recital

ラファエル・ゲーラ(ピアノ)

黒沼ユリ子(賛助出演)

Rafael Guerra - Piano -

Yuriko Kuronuma Special Guest - Violin -



メシアン: 主題と変奏曲

O. Messiaen: Tema and Variations

イザイ: ソナタ第4番 作品27 (無伴奏ヴァイオリンのための)

E. Ysaye: Sonata No.4 for solo violin

ラヴェル: ソナタ (ヴァイオリンとピアノのための)

M. Ravel: Sonata for violin & piano

ラヴェル: “ツィガーヌ” コンサートラプソディ

M. Ravel: Concert Rhapsody “Tzigane”

ベラスケス: 序奏と舞曲 (無伴奏ヴァイオリンのための) (日本初演)

L. Velazquez: Preludio y Danza for solo violin

サンサーンス: ハバネラ 作品83

C. Saint-Saens: Havanaise

ヴィエニャフスキ: スケルツォ・タランテラ 作品16

H. Wieniawski: Scherzo Tarantella Op.16

「千の音色でつなぐ絆」プロジェクト参加ヴァイオリン2台による

(第2ヴァイオリン: 黒沼ユリ子)

ショスタコーヴィチ: 3つの二重奏曲 (2台のヴァイオリンとピアノのための)


D. Shostakovich: 3 Duets for 2 violins & piano

サラサーテ: “ナヴァラ” 作品33 (2台のヴァイオリンとピアノのための)

P. de Sarasate: Navarra for 2 violins

2013年 1月 17日 [木]

7:00 PM 開演 [6:30PM 開場]

SRE  紀尾井ホール

EMBAJADA DE MÉXICO EN JAPÓN 全席指定 5,000円

Kioi Hall 19:00 Thursday 17 January 2013

チケットお申込み & お問い合わせ:

アーツ・アイランド = 03-6914-0353 紀尾井ホールチケットセンター = 03-3237-0061 東京文化会館チケットサービス = 03-5685-0650

主催: アーツ・アイランド / オフィス・アミーチ 後援: メキシコ大使館 協賛: ヴァイオリン・プロジェクト「千の音色でつなぐ絆」

# ヴァイオリンで語るヴィルトゥオーゾ、アドリアン・ユストゥス

黒沼 ユリ子



ある時、私がアドリアン・ユストゥスのことを「歌うヴィルトゥオーゾです」と紹介したところ「彼は声楽家でもあるのですか？」と訊かれて返事に窮したことがありました。が今になって思えば、それは正解でもあったのです。何故なら彼は、まるでオペラ歌手の様に、人生の喜怒哀楽をヴァイオリンで語り、歌う演奏家なのですから。

プラシド・ドミンゴ、ラモン・バルガス、ロランド・ピヤソン、ハビエル・カマレーナとは、メキシコが世界の楽壇に送り込んだ超有名なテノール歌手たちの名前だと即答できるオペラ・ファンは、日本にも少なくないでしょうが、ユストゥスは彼らと並びメキシコが誇る「語り・歌うヴァイオリニスト」なのです。パガニーニの「カプリス24曲」による彼のリサイタルの後には、次のような感想も届きました。

★何という瑞々しくも豊かに息づく音楽であろうか。歌うことが楽しくてしょうがない、そして聴衆全員にこの作品の魅力を共有しようではないかという様な熱い語りかけ。これまで聴いてきた多くのヴァイオリニストが小さく見えてしまうようなスケールの大きさ。有名な13番の語り口の巧みさは、ユストゥス自身がパガニーニになりきり語りかけている様な生々しさがあった★

少年時代に日本の聴衆から受けた熱烈な拍手の音が忘れられず「ヴァイオリニストとして生きるスイッチは日本でONにした」と言い切るユストゥスにとって東日本大震災は他人ごとではありませんでした。今回「千の音色でつなぐ絆」の趣旨に共鳴し、岩手県の流木から中澤宗幸氏が製作されたヴァイオリンを私と一緒に演奏することで、尊い犠牲者への鎮魂を祈り、不運な被災者たちとの連帯を表明し、この未曾有な大悲劇を風化させない為の輪に喜んで参加します。超絶技巧を決して飾らずに駆使しながらのユストゥスの自然体な演奏によって、「一人でも多くの聴衆が、音楽と共に生きることの幸せを実感できたら」と彼は願っています。それは彼が「神から授けられた使命」と信じているからなのです。



## ヴァイオリン・プロジェクト「千の音色でつなぐ絆」概要

このプロジェクトは、東日本大震災の被災者支援のために、被災地で生まれ育った木材でヴァイオリンを製作し、賛同する仲間たちがこのプロジェクトを実施するための組織「命をつなぐ木魂(こだま)の会」を作り、その楽器の演奏を通して被災された方を励まし、亡くなられた方に鎮魂の祈りを捧げ、この震災でおきたことを風化せずに復興が終わるまで全国の人々が支援を続けることを目的としています。  
(ヴァイオリン・プロジェクト「千の音色でつなぐ絆」Webサイトより転載)

## アドリアン・ユストゥス ヴァイオリン ADRIAN JUSTUS - Violin -

メキシコ市生まれ。幼少より音楽的環境に恵まれた家庭に育ち11歳でAcademia Yuriko Kuronumaに入り、黒沼ユリ子に師事。1985年「日本メキシコ友好コンサート」で初訪日。この時日本で受けた暖かい拍手で音楽が持つ不思議な力を体験し、将来への道を心に決めたという。メキシコの全国ヴァイオリン・コンクール優勝、オーケストラとの共演デビューをしてからロチェスター大学のEastman School of Musicに入り、Prof. Zvi Zeitlinに師事。特別奨学金を受け荣誉賞付で学位を取得。その後、Manhattan School of MusicでPinchas Zukermanのもとでも研鑽を積んだ。国際ヘンリック・シェリング・コンクールで金賞、メキシコのモーツァルト・メダル受章、ニューヨークの国際アーティスト・コンペティション賞なども受賞。カーネギー・ホール、ウイグモアホール、バービカン・センター、サントリーホール、テルアヴィヴのアート・ミュージアム、メキシコの国立芸術宮殿、プラハ城のスペイン宮殿など国際舞台に立ち、各地で高評を得る。ロンドンのフィルハーモニア・オーケストラとシベリウスの協奏曲、メキシコのケレタロ・フィルハーモニーとエンリケスの協奏曲第1番、アメリカの現代室内楽アルバム「タペストリー」などがすでにリリースされていたが、日本での2011年リサイタルからのライブ「ラ・カンパネラ」と2012年リサイタルからのライブ「パガニーニ・24のカプリス」も絶賛され、好評発売中。  
楽器は1744年製グアルネリ デルジェス“Lord Coke”を使用。

## ラファエル・ゲラ ピアノ RAFAEL GUERRA - Piano -

メキシコ シナロア州出身。ニューオリンズ・ピアノコンクールにて第1位、コンサート・アーティスト・ギルド(ニューヨーク)ファイナリスト、サン・アントニオピアノコンクールにて委嘱作品最優秀賞を受賞。1997年より日本を拠点とし、モーツァルト・アンサンブル・オーケストラと共演および連続リサイタルを開催、また室内楽奏者としても広く活躍中。2011年よりアドリアン・ユストゥスとの名コンビは好評を博している。

## アドリアン・ユストゥスヴァイオリンリサイタル来場者からの反響 (2012年1月19日紀尾井ホール)

★パガニーニの「24のカプリス」を生で全曲を通して聴くという経験はまずないし、その様な冒険に挑戦するヴァイオリニストも稀であろう。そして1時間半以上を聴く者を集中させ、酔わせるというのは至難の技であろう。ところがユストゥスはそれを当り前の様にこなしてしまふ。

★このパガニーニの作品の中に展開される、ヒューマンな情熱はなんと生々しく魅惑的であるのだろうか。赤裸々なパガニーニの告白を聴く様でさえある。超絶技巧が表現するための絶対的な条件であることがパガニーニにとっては必然であったことを確認。ユストゥスは、それを将に実証して体験させてくれた。

★最近注目の手若手と言っても、きれいな音でこじんまりと纏まっている人が多い気がする。ユストゥス持ち前のスケールの大きさ、ライブ感に加え、黒沼ユリ子から受け継いだ「音楽の楽しさを伝える力」を今後も大いに発揮してほしいと願う。

★最後の24番の圧倒的な響き。ここでパガニーニはそれまでをまとめ上げる様な壮絶なテクニクを要求。神がかり的。しかし、それはユストゥスには何でも無いようにさえ見える。技巧を楽しんでいるかのような余裕。技巧が歌うために必要な要素であると言わんばかりの豊かな歌。

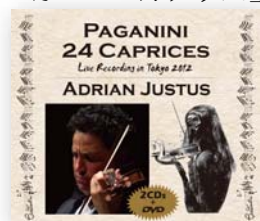
★1985年、人見記念講堂で開かれた「アカデミア・ユリコ・クロノマの生徒による」初のコンサート以来、今回で6回目となりましたが、ユストゥス氏はあれから「大きく、大きく」なられ、神技の演奏にじびれました。

★この様なヴァイオリニストがメキシコは別にして、世界的には未だ無名に近いというのはどの様なことだろう？ 何か、音楽ジャーナリズムの偏り、作られた商業音楽の世界の閉鎖性を考えてしまふ。私たち聴衆にもっと開かれた音楽世界の提供があって然るべきでなかろうか？ もっとも、その責任の一端は私たち聴衆にもあるのだからが・・・。

必聴！ 必見！！ 世界初！！ 一夜に全24曲ライブ録音・録画 ● 運弓・運指をズームアップでキャッチ ● 黒沼ユリ子プロデュースシリーズ渾身の第2弾

メキシコの「歌うヴィルトゥオーゾ」アドリアン・ユストゥス 待望のCD 当日の同時収録 Live DVD のプレゼント付き！！ 黒沼ユリ子プロデュース・シリーズ第一弾

## パガニーニ：カプリス全24曲ライブ◎アドリアン・ユストゥス



・パガニーニ：24のカプリス集 作品1 (無伴奏ヴァイオリン独奏曲) 全24曲が練習曲とはほど遠く、各曲が、まるでパガニーニ自身の真意を語るようにさえ聞こえる演奏。曲順も、これまで誰も試みたことのない前後の調性や内容を吟味した上での、独自の連続性がユニークで光り、勇気ある決断が魅力を増している。

アンコール  
・サンサーンス：序奏とロンドカプリチオーソ 作品28  
・アリヤ：スペイン舞曲(「はかなき人生」より)  
・メキシコ民族舞曲集「ハラベ・タパティオ」アドリアン・ユストゥス編曲  
◎ 2012年1月19日 紀尾井ホールにてのライブ収録 (ルビジウムクロックを使った超高音質録音)  
◎ ディスク内容：CD x2枚、DVD x1枚

■ 品番：AJ-1003  
■ 税込価格：4,000円  
■ 発売日：2012年11月1日  
■ 発売/販売元：オフィス・アミーチ

## ラ・カンパネラ ◎アドリアン・ユストゥス ヴァイオリンリサイタル



・H.シェリング：古典的前奏曲(ヴァイオリンとピアノのための)  
・E.イザイ：ソナタ第2番 イ短調 作品27 (無伴奏ヴァイオリンのための)  
・M.M.ボンセ：ソナタ・プレリューヴェ(ヴァイオリンとピアノのための)  
・N.パガニーニ：カプリス集作品1 (無伴奏ヴァイオリンのための) 21、6、17)  
・N.パガニーニ：ラ・カンパネラ(オリジナル版)  
・マヌエル・M・ボンセ：小さな星(エストレージャ)  
・パブロ・デ・サラサーテ：サバテアード  
・ドヴォルジャーク(クライスラー編)：スラブ舞曲第2番

■ 品番：AJ-1001  
■ 税込価格：3,000円  
■ 発売日：2011年11月1日  
■ 発売/販売元：オフィス・アミーチ

◎ 2011年1月13日 紀尾井ホールにてのライブ収録 (ルビジウムクロックを使った超高音質録音)  
◎ ディスク内容：CD x1枚、プレゼントDVD x1枚